No.21	踏み出し		
氏名	蔵田　直生	情報理工学部	4回生

１．出願時のテーマ･目標を具体的に記述してください。

活動テーマ：自宅学習効率化のためのオンライン自習室を開催するためのWEBサイトの構築
活動目標：今後、より質の良い自宅学習を促すためのオンライン自習室を開催していくためにZOOMを用いて試験的なオンライン自習会の実施、オンライン自習室の環境を改善するためにオンライン自習会へ来た人へアンケートを実施、オンライン自習室の環境の検討、オンライン自習室を管理するためのホームページの作成・運営

２．上述のテーマ･目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。

7月から9月にかけては、主に今後オンライン自習室を開催していくための実験的なオンライン学習会の実施、オンライン自習室の環境を検討するために自習会に来た人に対してのアンケートを行おうと思っています。
オンライン自習会の概要としては、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングを開催するために開発されたアプリZOOMを用いて開催しようと考えています。
今回のオンライン自習会は試験的に行うので、初回のオンライン自習会の開催時間は3時間程度にし、参加人数は中高生６人程度にしようと考えています。また、オンライン自習会を開催するにあたって質問対応等のために監督者を数名配置しておきます。
質問対応に関しては、監督が口頭で速やかに対応できそうな質問に関しては、ZOOMの機能のうちの一つのブレイクアウトセッションを用いて質問者と監督者が一対一で質問対応を行い、説明に時間がかかりそうな質問や質問者が多くて時間が足りない場合には順に一つ一つの質問に対して監督者が返答を用意し個人向けのチャット等でフィードバックしていこうと考えています。
オンライン自習室の環境のためのアンケートについては、中高生たちがオンライン自習室に何を求めているか、実際に自分一人で自宅学習する場合と比べてオンライン自習会を利用して自宅学習した方が効果的かなどを調査していこうと考えています。
10月から12月にかけては、主に7月から9月で実施したオンライン自習会の結果と中高生へのアンケートの結果を踏まえて、オンライン自習室の環境について検討していく期間にしたいと思っています。
7月から9月の期間でオンライン自習会を開催していますが、その結果を踏まえてさらに試験的にオンライン自習会を行う必要があるとなった場合には10月から12月の期間にも追加でオンライン自習会を実施し、オンライン自習室の環境構築のために役立てます。
オンライン自習室の環境構築のために検討する必要があると考えている点は、自習室の開講時間・時間帯、同じ自習室内の定員を設けて複数の部屋に分ける必要があるか、何人の監督に対して何人の自習者が適切か、質問対応の方法です。
自習室の開講時間に関しては、中高生の放課後の時間が適切であると考えているが、アンケートをもとに今後再検討していこうと思います。
自習室内の定員を設けることや監督者が監督する自習生の人数についても、それぞれのメリット・デメリットがあると思うので複数回のオンライン自習会のアンケート結果をもとに検討していきたいと考えています。

５．今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。

今回、採用前に予定した計画通りに進行していないため、今度の展開としては、実施したオンライン自習会のアンケート結果をもとに自習室環境を再検討します。その後、オンライン自習室を管理するためのホームページの作成のため勉強、作成をしたいと考えています。

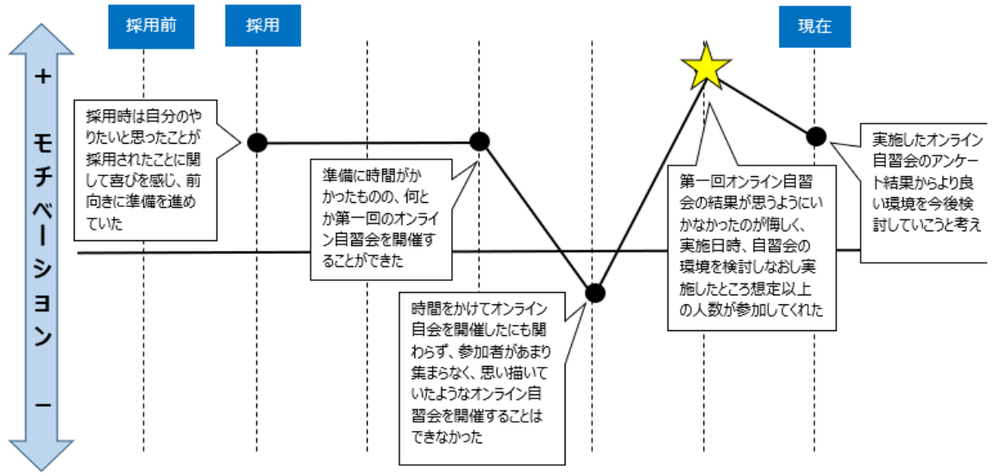
６．今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。

今回の取り組みを通して、事前に計画を立てることの重要性や物事を多角的に見ること重要性を再確認したので、今後正課の取り組み・課外の取り組みをする際に、この２点に注意して準備することができるようになると考えている。
このことから、十分に準備ができるため、円滑に取り組みが進み、さらなる学びにつながるのではないかと考えています。

７．今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会･周囲）への貢献･還元の点で記述してください。

コロナウイルス禍でなければ、自宅では誘惑が多くて勉強に集中することができない学生は、学習塾の自習室に行って勉強仲間を見て自分を鼓舞することができたり、図書館の自習スペースに行って静かな場所で勉強をすることができたりしていたが、このような学生が自習するスペースがコロナウイルス禍ではほとんど奪われてしまっていました。
今回の活動を通して、自宅では集中することができないといったような学生に向けて、自宅にいながら勉強仲間と勉強することができる機会を提供することができたと考えています。

３．個人の成長の軌跡3-1．取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください．



3-2．グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。

第一回オンライン自習会開催時には、自分では初めて開催するイベントなので、滞り無いようにイベント終了できるように時間をかけて用意周到に準備するつもりでいたが、実際にオンライン自習会を開催してみると、自分では想定していなかった問題が発生し、自分の準備の甘かった点を知ることになりました。
自分の準備不足だった点を具体的に挙げると、参加者の望む開催日時では無かった点や、参加者がスムーズに質問することができなかった点が挙げられました。これら二点ともが、自分が参加者のニーズについて詳しく検討できていなかったために起こった問題だったと考えています。
今回のこの経験で、自身の視点からだけでなく、多角的に物事を検討することの重要性を再認識しました。

3-3．”今回（今年度）の取り組み”と”正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？

今回、この活動と正課の取り組みである卒業研究を平行して行わなければいけないことが事前に分かっていたので、前もってスケジュールを組んで効率よく二つの活動に取り組むことができました。

4．本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか５段階で評価してください。（該当ナンバーに○）
また、併せて評価の理由も書いてください。 評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】

① 目標の達成度　4

今回の活動の本来の目的である、オンライン自習室の環境の検討はオンライン自習会の実施によって、十分検討することができたので、達成度は4としました。

② 計画の達成度　3

今回の活動を通して、採用前に考えていたよりもオンライン自習会の準備に時間がかかってしまったために、大幅に計画が遅れてしまいました。遅れてはいますが、本来計画していた順に進めることはできているので計画の達成度は3としました。

③ 取り組みを通じた自己成長　5

今回の活動を通して、事前に計画を立てることの重要性や物事を多角的に見ることの難しさ、重要性を再確認することができました。

10．今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。

① 身についた力

計画力・多角的な視点から物事を見る力

② ①で記述した力について具体的に説明してください

計画力は、大雑把にスケジュールを検討して実施内容を決めるわけではなく、具体的に実施する必要がある項目を詳細にリストアップし、自身が抱えている他の活動の日程も加味して計画を立てる力だと考えています。
多角的に物事を見る力は、自分の視点からだけではなく、参加者、協力者など、その取り組みに関るすべての人の目線から物事を考える力だと考えています。

③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください

3-2で記述したことと重複しますが、第一回オンライン自習会開催時には、自分では初めて開催するイベントなので、滞り無いようにイベント終了できるように時間をかけて用意周到に準備するつもりでいたが、実際にオンライン自習会を開催してみると、自分では想定していなかった問題が発生し、自分の準備の甘さを痛感しました。そのことから、計画を詳細に立てる事の重要性、多角的に物事を見る事の重要性を意識するようになり、身についたと考えています。